



2014  
11月号  
no.64

臨床育児保育研究会 発行

【特集】

いま、なぜ「保育ソーシャルワーク」なのか

## 困難な家庭への支援をどう考える？



●おなかを抱えて笑っていて、子どもと向き合える仕事だからこそ子どもと一緒に笑ってますか？

●子どもの力に魅せられてキヤリアを捨てて、保育の世界に飛び込んだ

●認定こども園の給付を巡って大混迷えっ？ 新制度になっただら減収に？

●汐見裕幸・対談 保育士とママさん  
子どもと一緒に探求していくは、保育者の引き出しは、いくらでも豊かになる

2014  
11月号  
no.64

保育者と親のための学び&交流誌「エデュカール」11月号 第64号 2014年10月20日発行(隔月刊)

編集・発行人/汐見裕幸 発行所 臨床育児保育研究会 〒140-0003 東京都中央区八潮5-5-23-1404

年間購読料 3,200円(税込み)

あそびと教育



ボーネルンド

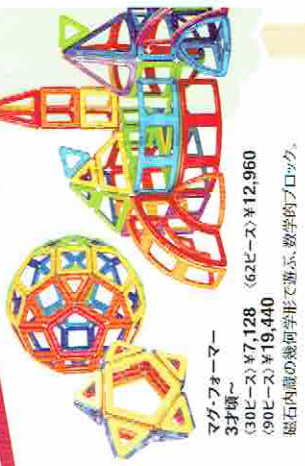
## あそぶことは 生きること

ボーネルンドは、子どもの健やかな成長を「あそび」を通して応援するために、1981年に日本で生まれました。以来、遊んで育つ子どもたちのために、優れた世界の「あそび道具」や豊かな「あそび環境」を量販しています。

キッチンセンター 赤・白  
2才頃～ ¥14,580  
子ども等身大の本格派。  
調理器具もセットになって、  
4～5人同時に遊べます。



マグ・フォーマー  
3才頃～  
(30ピース) ¥7,128 (62ピース) ¥12,960  
(90ピース) ¥19,440  
磁石内蔵の幾何学形で遊ぶ、数学的ブロック。



フォームピニマルズ  
4才頃～  
10ピース ¥9,100  
5ピース ¥19,440  
身体発達力から遊びが楽しめる。  
遊ぶ楽しみ。



全国に92店舗

### ボーネルンドのクリスマスフェア

2014年11月21日(金)～12月25日(木)

アサヒ社からのおもちゃなど大きなあそび道具まで、クリスマスならではのおもちゃが盛りだくさんで用意されています。

期間中、400円以上お買い上げの方に素敵なプレゼントもおまかせしています。  
0120-368-518(月～土) 0120-368-518(月～土) 0120-368-518(月～土) 0120-368-518(月～土)



世界の優れた「あそび道具」の専門店  
ボーネルンドショップ

赤ちゃんから小学生まで、発達段階にあわせて、多種多様なあそび道具を世界中から厳選しています。

オンラインショップもご利用ください

ボーネルンド

検索

www.bornelund.co.jp

株式会社ボーネルンド 平150-0001 東京都渋谷区神宮前1-3-12 3F ☎0120-368-518(月～金 10:00～17:00(都祭日除く))





新園「ハッピーホライズンズ」は、東京都世田谷区のインターナショナル保育園。写真は、開園準備中の職員と。

と聞かれて、それも自分自身を振り返るきっかけになりました。

そんなふうに子どもと接していくうち、どんどん自分が成長していくことに気がつきました。部下との接し方も営業スタイルも変わり、子どもの力ってすごいな、と。週1回のサッカーの練習日が楽しみで仕方なくなってきたんです。

重ねてきたもの。そんな「個性的な」一つ一つを、自分たちだけの中にとどめず、周囲と共有できる形にし（そこに、データ整理や論理にとどまらず「体系的な視点」の可能性は非常に大きいと感じています）、磨き上げたものを社会に向けてどんどん発

信していけたらいいな、と。

そんなことを考えているうちに、いずれ、自分のこれまでの経歴と、保育の現場の経歴をもって、もう一度、今度は「教育」の分野で大学院に行つて研究してみたいとも思っています。

## NTTドコモグループの会社を辞めて 子どもの可能性をつぶさない 理想の保育園がまもなくスタート

### 子どもの力ってすごい

4年前、当時幼稚園児だった息子が地元のサッカーチームに入団し、私もパバコーチとして参加することになった。そこで初めて、子どもの集団というものに出会いました。

まだ幼稚園児ですから、サッカーをしていても途中で飽きて遊び始め

る子どももいるわけです。はじめのうち、強引に連れ戻して練習をさせていました。でも、ちつとも楽しそうじゃないんですね。

それで、あるとき「何がしたい？好きなことをしていいよ」と子どもに委ねてみました。そうしたら、鬼ごっこなどを始めたんですが、とて



町啓介さん  
東京都認可外保育園

【プロフィール】  
大学卒業後、NTTドコモグループ会社に勤務。12年間勤務し、昨年退社。保育園立ち上げに向けて株式会社を設立し、今年10月からいよいよ新園がスタートする。（注：取材は新園スタート前の9月）

も楽しそうで、そんなときに指導したら素直に聞いてくれたんです。そうか人間、自分からやりたいと思わないとダメなんだな、と、それが自分にとっては大きな発見で。

そして、子どもってとても純粋でストレートなんですね。「何の仕事してるの？」「それって、楽しいの？」

### 3年間考えに考え、ついに決断

実はそのころ、仕事では行きづまりを感じていました。学歴社会に乗っかって、やりたくもない勉強をして、世間でよいと評価される会社に入っただけれど、自分の人生、これでいいのか。子どもに「それって、楽しいの？」と聞かれたときに、胸を張って「楽しいよ」と言えるような生き方をすべきではないのか。

折しも、息子が幼稚園に「行きたくない」と言い始め、その理由を探ったときに、カリキュラムを押している園の教育方針に問題があると感じました。やりたくもないことをやらされる、個性や可能性をつぶす教育は、こんなに小さいころから始まっていたのかとがくせんとしました。

そして、思ったのです。自分の手で理想の園を作りたい、と。こんなに心から「やりたい」と思うことに

めぐり合えたのは、初めてでした。

でも、いわゆる「脱サラ」です。いったいお金はいくらかかるのか。家族で食べていけるのか。3年間考えに考え、ついに昨年、「人生1回きりだ、やりたいことをやろう」と、保育園開設を決意。半年後に会社を辞め、株式会社を設立し、勉強を重ねながら準備をすすめてきました。

そして、いよいよ来月、わが園がスタートします。とにかく、子どもに無理やり何かをやらせて、可能性をつぶすことだけはしたくない。そこで、勉強する中でいちばん自分の思いにフィットしたレッジョ・エミリアの保育も取り入れ、英語をベースに保育をすすめる国際色豊かな園をめざしています。まずは、アメリカ人を含む4人のバイリンガルの先生と、私と妻の6人体制で。家族一丸となつての船出に、いま心からワクワクしています。